

平成25年度 当初予算

主な事業の説明書

生涯学習部

・・・・・・・・・・目

次・・・・・・・・・・

款	項	目	大	事	業	ページ
10	5	2	11	生涯学習推進体制整備費		9 - 1
10	5	2	15	(新規) 国民文化祭関連事業費		9 - 2
10	5	4	11	図書購入費		9 - 3
10	5	4	99	(新規) 子ども読書活動推進事業費		9 - 4
10	5	5	10	(新規) 生涯学習施設管理費	音楽交流館管理費	9 - 5
10	5	5	16	総合市民会館運営費		9 - 6
10	5	5	17	大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費		9 - 8
10	5	6	14	払田柵跡環境整備事業費		9 - 9
10	5	6	15	払田柵跡土地買上事業費		9 - 10
10	5	6	17	旧池田氏庭園整備事業費		9 - 11
10	5	6	18	埋蔵文化財調査費		9 - 12
10	5	6	20	鈴木空如資料調査研究事業費		9 - 13
10	5	6	22	(新規) 埋蔵文化財公開活用事業費		9 - 14
10	6	1	11	スポーツ振興事業費		9 - 15
10	6	1	13	全県500歳・550歳野球大会関係費		9 - 17
10	6	1	15	スポーツ合宿等推進交流事業費		9 - 18

事業説明書

10 款 5 項 2 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業) 市民のニーズや各世代に応じた学習機会の提供

【事業名】 生涯学習推進体制整備費 【説明項目】 生涯学習情報誌「こすもす」配布による学習情報提供事業について														
【25年度】	3,474 千円	【24年度】	2,228 千円	【増減額】 1,246 千円										
1. 事業の目的 大仙市内のいたるところで実施される学習機会や、学んだ成果活用の情報を市民に広く提供し、より多くの市民が学びを深められるよう学習意欲を喚起し、新たな学びの機会への参加を促す。														
2. 事業の目標（数値目標） 現在学んでいる方だけでなく、これから学びを始めたいと考えている方にも一歩を踏み出すきっかけとなるような学習情報誌を作成する。 【目標数値】 平成24年度 4,700部 ⇒ 平成25年度 10,000部														
3. 事業の概要 生涯学習情報誌「こすもす」（規格：A4・マット紙菊判・48.5kg・カラー44P） ○主な内容（編集方針） (1) 地域で活動している方や、学習成果を活用している個人やサークル会員の生の声を掲載する。また、地域の自然や歴史、文化を紹介し、そこで活躍している人の話題等も紹介して、学習参加意欲を高める内容とする。 (2) 地域や取り上げる内容のバランスを配慮して作成する。 (3) 大きめで見やすい文字、読みやすくて分かりやすい文章、学ぶ人に役立つ内容であることに留意する。 (4) 発行は、年1回12月とする。 ○配布方法 【施設配布 5,000部 ふるさと会配布 1,000部 各種生涯学習活動参加者配布 4,000部】 ※平成25年度ふるさと会総会では、平成24年度版を配布（約1,000部）。 市内生涯学習施設に限られていた配布場所を拡大するとともに、各種生涯学習活動、ふるさと会等を通じて、大仙市の社会教育に関心のある方々に広く読んでいただけるよう積極的に配布する。														
4. これまでの成果と今後の方向性 これまで、生涯学習情報誌「こすもす」は全7号を発行しており、その内容も毎回テーマを変えながら各分野の先進者を招いての座談会形式の特集記事や、各団体や学校における活動紹介、地域の自然や歴史に焦点を当てた記事など、読者からは情報量が非常に豊富であると好評をいただいている。 現在、その配布場所が市内生涯学習施設に限定されているため、一部の興味ある方への情報提供に留まっており、今後は広く情報を発信していく上で、出来るだけ多くの皆さんへ配布するなどの新たな取り組みが必要である。														
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 生涯学習情報誌「こすもす」の配布は情報提供のみに留まらず、学校支援地域本部事業においては、本誌発行後市民の参画が促進されたことなど、県の重点目標である「行動人」の育成という観点からも大きな成果が得られたものと言える。 今後も生涯学習に関する地域ニーズを探りながら、幅広い分野で情報を提供していくことは勿論、市民が学んだことを社会に活かすことのできる環境の醸成を目指す。 ※「行動人（こうどうびと）」：秋田県の生涯学習がめざす人間像「学んだことを社会や地域に生かして行動する人」				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続										
5. 財源内訳 (単位:千円) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>予算額</th><th>国県支出金</th><th>市債</th><th>その他</th><th>一般財源</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,474</td><td></td><td></td><td></td><td>3,474</td></tr> </tbody> </table> 【国県支出金】 【その他】					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	3,474				3,474
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
3,474				3,474										

事業説明書

10 款 5 項 2 目 15 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 文化活動参加機会の提供

【事業名】 国民文化祭関連事業費

【説明項目】 「第29回国民文化祭・あきた2014」に向けた準備経費について

【25年度】 1,113 千円 【24年度】 0 千円 【増減額】 1,113 千円

1. 事業の目的

平成26年10月に本県で開催される第29回国民文化祭は、先人たちに思いを馳せ、文化を継承し活動に励んでいる方々、次代を担う若者や子どもたちが、文化の力を再認識する祭典として行われる。大仙市としても積極的に参加し、地域を全国に発信するとともに、地域文化の一層の発展を図り、将来都市像である、人が生き、人が集う夢のあるまちづくりに資することを目的とする。

2. 事業の目標（数値目標）

平成25年度は、実行委員会や企画委員会、企画委員会合同会議を開催し、文化関係団体並びに商工観光関係団体等と細かな内容について協議するとともに、様々な情報発信・広報活動（DCとの連携）を展開、事業別実施要項や募集要項を県内外に周知する。

3. 事業の概要

○実行委員会

事業詳細内容、広報、受け入れ体制などを検討していくため、芸術文化、商工、観光などの関係団体を含む官民一体となった委員会、15名程度で組織。

○企画委員会

・個別事業の具体的な企画、検討を行うため、事業関係者を中心に、各12名程度で組織。

①囲碁サミット等企画委員会

②「旧池田氏庭園秋の園遊会」企画委員会

③「秋田の美×写真の力」企画委員会

・各委員会において、先催県へ視察を行う。

旅費 <視察旅費> 山梨県、東京都 494 千円

<会議出席旅費> 市内・市外実費 105 千円

・開催要項、募集要項、リーフレット等の印刷

印刷製本費 360 千円

○企画委員会検討会議

個別事業を横断的に調整し、事業に厚みを持たせた運営方策を検討する。

※国民文化祭市町村主催事業交付金（県）

・交付対象経費の合計額に10分の8を乗じて得た額

・1事業あたりの上限12万円

4. これまでの成果と今後の方向性

平成26年度に向け事業別実施要項や募集要項の周知徹底により、県内外からの参加者を募集する。また、DCとの連携により、プレイベントを実施し、気運を高めるとともに市民の参加意欲の醸成を図る。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価
(今後の方向性)

平成24年度は、市実行委員会を組織し、委員会準備会議や企画委員会をもちながら事業別実施計画の策定、概算予算の見込み等事業実施に向けた下地づくりを行った。25年度は、実施要項や募集要項の周知をはじめ本番への弾みをつける年として継続して盛り上げていく。

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,113	360			753

【国県支出金】 15款2項8目：国民文化祭市町村主催事業交付金

【その他】

事業説明書

10 款 5 項 4 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合図書館

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業)総合的な学習の場及び図書の情報提供

【事業名】 図書購入費														
【説明項目】 図書購入内容について														
【25年度】	11,000 千円	【24年度】	11,000 千円	【増減額】 0 千円										
1. 事業の目的 図書館は情報発信の基地といわれており、常に新しい資料を求める市民に対し、高度・多様化する図書館ニーズへの対応とサービス水準の維持・向上を図り、特色ある公立図書館の構築を目指すため、要求図書・専門図書などの充実を図ることを目的とする。														
2. 事業の目標（数値目標） 図書館は、多方面にわたる図書資料や情報を収集し生涯学習へのニーズに迅速、的確に対応できるようサービスの提供を図る。 <table border="1"> <tr> <td>【目標数値】</td> <td>現在値（H24年度）</td> <td>目標値（H25年度）</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>74,120人</td> <td>76,000人</td> </tr> <tr> <td>蔵書数</td> <td>285,378冊</td> <td>293,000冊</td> </tr> </table>					【目標数値】	現在値（H24年度）	目標値（H25年度）	利用者数	74,120人	76,000人	蔵書数	285,378冊	293,000冊	
【目標数値】	現在値（H24年度）	目標値（H25年度）												
利用者数	74,120人	76,000人												
蔵書数	285,378冊	293,000冊												
3. 事業の概要 TRC（図書館流通センター）より購入しているベルコースに関しては、話題本が定期的に送られてくるので現状のままとし、それ以外に関しては、定例の選書会議を開催し、各図書館の特徴（地域性）を重んじた選書に努め、極力重複することのないように蔵書構成を図る。 ・TRC（ベルコース） 2,120冊 3,270千円 日本文芸書、外国文芸書、児童読み物、中・高校生用、暮らしの実用書、住まいと住宅、健康と家庭の医学、日本の文学、現代社会等 ・選書 3,555冊 6,730千円 一般図書、児童図書、大型絵本、郷土資料、参考図書等 ・視聴覚図書 170巻 1,000千円 DVD、CD（音楽・朗読） ○各図書館で重点を置き購入したい図書 大曲 調べ学習図書（児童図書）、調査研究に必要な図書（参考図書）、郷土資料、専門書 神岡 野球関係図書、児童図書、視聴覚資料 西仙北 児童支援サービス資料、学校や保育園の活動・学習を支援する資料、自然科学資料 中仙 黒澤文庫を中心とした芸術文化資料 協和 郷土資料、調べ学習図書（児童図書） 南外 参考資料図書 仙北 調査・学習に必要な参考資料（辞典・事典・年鑑・全集）、郷土資料、視聴覚図書 太田 絵本・調べ学習用図書（児童図書）、大型絵本														
4. これまでの成果と今後の方向性 ・定例選書会議を開催し、各図書館の蔵書計画を見据えての購入が可能となった。 ・図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用し市民サービスの向上を図る。														
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 ・定例選書会議により重複本を極力さけ、各図書館のニーズにあった図書購入が図られた。 ・学校の調べ学習に関する図書の充実を図った。 ・図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用した。（8,121冊） ・図書の貸出しについて予約を伴った貸出しが多い。（9,726冊）				総合評価 (今後の方向性) 現状のまま 継続										
5. 財源内訳 (単位:千円) <table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>国県支出金</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>11,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11,000</td> </tr> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	11,000				11,000
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
11,000				11,000										
【国県支出金】 【その他】														

事業説明書

10 款 5 項 4 目 99 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合図書館

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業)総合的な学習の場及び図書館の情報提供

【事業名】 子ども読書活動推進事業費												
【説明項目】 ブックスタート事業及び公立図書館と学校図書館の連携にかかる経費について												
【25年度】	5,880 千円	【24年度】	0 千円	【増減額】 5,880 千円								
1. 事業の目的												
「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、平成22年度から平成26年度までの5年間、子ども読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成する。												
2. 事業の目標（数値目標）												
大仙市の子どもたちがあらゆる機会をとらえて、自主的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを進めるため、4項目の基本目標にそって読書活動を推進する。												
<table border="0"> <tr> <td>1. 家庭・地域における読書活動の推進</td> <td>2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進</td> </tr> <tr> <td>3. 学校における読書活動の推進</td> <td>4. 図書館における読書活動の推進</td> </tr> <tr> <td>【目標数値】</td> <td>現在値 (H24年度) 目標値 (H25年度)</td> </tr> <tr> <td>読書活動推進計画を推進するための24の施策</td> <td>24施策実施済 24施策実施</td> </tr> </table>					1. 家庭・地域における読書活動の推進	2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進	3. 学校における読書活動の推進	4. 図書館における読書活動の推進	【目標数値】	現在値 (H24年度) 目標値 (H25年度)	読書活動推進計画を推進するための24の施策	24施策実施済 24施策実施
1. 家庭・地域における読書活動の推進	2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進											
3. 学校における読書活動の推進	4. 図書館における読書活動の推進											
【目標数値】	現在値 (H24年度) 目標値 (H25年度)											
読書活動推進計画を推進するための24の施策	24施策実施済 24施策実施											
3. 事業の概要												
○ブックスタート事業（家庭・地域における読書活動の推進）												
4か月児健診時に、赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡す。												
『語りかける愛情で、赤ちゃんの幸せを広げたい』												
・ブックスタートパックの中身												
絵本2冊（がたんごとんがたんごとん、くつついた）、子育て情報誌、図書館案内、利用カード申請書、読み聞かせの日程案内書等												
○公立図書館と学校図書館の連携												
子ども読書支援サポーター3名を大曲地域（大曲図書館）、東部地域（仙北図書館）、西部地域（西仙北図書館）に配置し、特に小中学校を巡回し、子どもの読書活動に対する支援体制を強化し、読書活動の推進を図りながら学校図書館の読書活動を整備支援する。												
平成25年度の事業費予算												
○ブックスタート事業 1,080千円												
○公立図書館と学校図書館の連携（共済費・賃金） 4,444千円（地域雇用基金の活用）												
○その他（旅費、消耗品費等、ボランティア保険） 356千円												
4. これまでの成果と今後の方向性												
・平成23・24年度は住民生活に光をそそぐ交付金（光基金）の予算措置により、ブックスタート事業を始め、保育園・幼稚園、小中学校においては絵本及び学校図書の実績が図られた。												
・平成25年度はブックスタート事業及び子ども読書支援サポーターによる学校図書館との支援体制の強化を図る。												
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)								
- ブックスタート事業については、定着してきており保護者からも好評を得ている。 - 保育園・幼稚園、小中学校においては、読書活動推進を図るための絵本及び学校図書の充実が図られた。 - 子ども読書支援サポーターの配置により、学校図書館との連携が密になった。授業で使う本の相談等に応じたり、団体貸出を積極的に行っている。				改善しながら継続								
5. 財源内訳												
(単位:千円)												
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源								
5,880			4,444	1,436								
【国県支出金】												
【その他】 18款1項1目:地域雇用基金												

事業説明書

10 款 5 項 5 目 10 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 生涯学習の基盤づくりと推進基盤の充実

(基本事業) 学習施設の整備、充実

【事業名】 生涯学習施設管理費 音楽交流館管理費				
【説明項目】 音楽交流館(旧北神小学校) 管理費について				
【25年度】	2,256 千円	【24年度】	0 千円	【増減額】 2,256 千円
1. 事業の目的 廃校となった旧北神小学校の有効利用を図り、市民に音楽活動の場を提供し教養及び文化活動の発展向上に寄与する。				
2. 事業の目標 大仙市は「音と光と水のまち」としてのキャッチフレーズが広がり、特に吹奏楽やマーチングの演奏のレベルは県内はもちろん、東北大会を始め全国大会にも数多く出場し全国でも類を見ない音楽の盛んな地域である。このような地域の音楽関係団体に対し活動の場の提供を通じて支援していく。				
3. 事業の概要 ○ 開始時期 平成25年4月から ○ 場 所 大仙市北檜岡字嶋151(旧北神小学校) ○ 名 称 (仮称) 大仙市音楽交流館 ○ 施設の概要 1階 多目的ホール 小(1)中(2)大(1)研修室(3)会議室(2) 2階 研修室(4) ○ 音楽交流館に係る経費 2,256 千円 平成25年4月上旬から音楽関係の練習場所として、また各関係団体との交流の場として整備し、施設の適切な管理を図るとともに、地域の自主性を尊重した施設運営を行う。 ・ 賃 金 196 千円 ・ 需用費 888 千円 ・ 役 務 費 194 千円 ・ 委託料 957 千円 ・ 備品購入費 21 千円				
4. これまでの成果と今後の方向性 ○市内各音楽団体の活動については、時間や場所などの様々な制約があり、これまで十分な活動環境を確保することができなかった。 ○旧北神小学校については、地域住民から「音楽団体の活動場所」や「地域住民の交流の場」、あるいは「災害時の避難施設」として利用したいという強い要望があり、これまで音楽団体及び地域住民との協議を進めてきた。 ○交通の利便性、民家から離れており騒音問題も生じにくいなど立地条件にも恵まれていることから、多くの市内音楽関係者が音楽の技量を伸ばす道場として活用するとともに、地域住民同士の交流や地域住民と音楽団体の交流の場として活用していく。 ○施設の管理については市が安全性に充分配慮しながら適切に行い、運営については地域住民、利用者団体等からなる利用者協議会を設置し、地域の方々が利用しやすく、また長く愛される施設となるよう利用者や地域の自主性を重んじた運営を図る。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
2,256			10	2,246
【国県支出金】				
【そ の 他】 13款1項7目: 音楽交流館使用料				

事業説明書

10 款 5 項 5 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合市民会館

(施策の大綱) 芸術、文化活動の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 芸術鑑賞機会の拡大

【事業名】 総合市民会館運営費

【説明項目】 「自主事業公演運営費」(4館)について

【25年度】 40,129 千円 【24年度】 36,942 千円 【増減額】 3,187 千円

1. 事業の目的

優れた舞台芸術を身近に鑑賞する機会を提供し、市民の芸術文化意識の発展向上を図ることを目的とする。

2. 事業の目標(数値目標)

■市内4館の立地・舞台設備、及び地域芸術文化の特色を生かし、多様な自主事業公演を展開する。

■市民の目線からの意見や提案を積極的に取り入れながら、全市的な立場から大仙市として統一のとれた自主事業公演を実施する。

3. 事業の概要

■自衛隊音楽隊・クラシック音楽・演劇・映画・ポップス・落語・民俗芸能・能など幅広いジャンルの公演を市民に提供する。

■4館自主事業公演実施費用(各館の事業詳細については別紙記載)

■大曲市民会館の「スロヴァキア・フィル・合唱団」は、スロヴァキア共和国建国20周年を記念して、コンサートイマジン社が企画招聘するもので、来日3公演中、合唱団単独公演は大仙市のみの貴重な公演である。

■中仙市民会館の「仙台フィル&東誠三」は、開館10周年記念事業として行うものである。

	【平成25年度事業】			収支
	事業費	入場料収入	一般財源	
大曲市民会館(4事業)	17,075	8,496	8,579	50%
中仙市民会館(4事業)	11,998	4,377	7,621	36%
協和市民会館(4事業)	9,056	4,230	4,826	47%
仙北ふれあい文化センター(2事業)	2,000	550	1,450	28%
4館チケット販売手数料等		各館に含む		
計	40,129	17,653	22,476	44%

収支比率(入場料収入÷事業費)は、H23年度・秋田県公文協加盟直営館平均=36.5%

4. これまでの成果と今後の方向性

■良質な舞台芸術は多くの市民に感動を与え、知的欲求や創意を生み出し、新たな創造活動を誘発する。

■H24年度はこれまでより「共催事業」を多くして、一般財源負担の軽減と多彩なジャンルの提供に努めた。

■これまで実施要望の多かった「若い世代向け」の事業を計画した。(アンケート実施)

■「宝くじ文化公演」等の助成制度を活用し、収支比率の改善に努める。

■NHK「BS日本の歌」等の共催誘致を図り、一般財源負担のない事業実施に努める。

《H24年度事務事業評価における内容》

■平成23年度に、自主文化事業の企画立案を図り、協働によるまちづくりの推進に資することを目的として、新たに一般市民からなる「大仙市市民会館等運営連絡協議会」を設置した。

■市民ニーズの多様化、高齢化、人口減少、経済状況の停滞等により、一つの公演に対する集客能力は落ち込んでいるが、大半の市民には満足いただいている。

■優れた芸術文化の鑑賞機会の拡大のため、財政状況を勘案しつつ、一定の財政負担のもとで、自主事業を継続的に市民に提供することが必要である。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
40,129			17,653	22,476

【国県支出金】

【その他】 20款5項4目:入場料等収入

25年度 4館自主事業公演

	事業名	実施年月日	公演形態	入場料金	入場者数	事業費	入場料収入	一般財源	公演委託	
				(前売り)円	人					千円
大曲市民会館	1 ポップス系コンサート	10月～11月	自主	S席7,000	998	8,927	6,986	1,941	8,080	
	2 スロバキア・フィルハーモニー合唱団	H25.10.20(日)	自主	S席3,000(500人) 小中招待(300人)	800	6,934	1,500	5,434	5,985	
	3 大曲仙北合唱連盟「大いなる秋田 大演奏会」	H25.12.15(日)	自主	入場無料	500	502	0	502	0	
	4 自衛隊音楽隊コンサート(東北方面音楽隊)	9月末～10月初	自主	入場無料	800	712	0	712	500	
	その他歳入				チケット販売手数料		10			
25年度小計						17,075	8,496	8,579	50%	
24年度予算						14,071	9,178	4,893	65%	
中仙市民会館	1 航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート	H25.6.2(日)	自主	入場無料	500	512	0	512	325	
	2 松竹特別公演「三婆(さんばば)」	H25.9.3(水)	自主	S席5,000 A席4,500	500	3,919	2,375	1,544	3,150	
	3 ドンパル開館10周年記念事業 仙台フィルハーモニー オーケストラ&&東誠三クラシックコンサート	H25.11.17(日)	自主	S席4,000 A席3,500	500	7,332	1,892	5,440	6,447	
	4 優秀映画鑑賞会	1月下旬	自主	全席自由500	200	235	100	135	84	
	その他歳入				チケット販売手数料		10			
25年度小計						11,998	4,377	7,621	36%	
24年度予算						9,298	4,551	4,747	49%	
協和市民センター	1 自衛隊音楽隊コンサート	6月	自主	入場無料	500	480	0	480	450	
	2 和太鼓フェスティバル	8月	自主	一般1,000 高校生以下500	400	1,613	375	1,238	1,448	
	3 林家木久扇&林家木久蔵 親子会	11月	自主	S席3,000	450	2,396	1,350	1,046	1,735	
	4 能公演(喜多流)	9月	自主	S席8,000 A席7,000	320	4,567	2,475	2,092	3,459	
	その他歳入				チケット販売手数料		30			
25年度小計						9,056	4,230	4,826	47%	
24年度予算						10,807	5,765	5,042	53%	
ふれ文	1 民俗芸能フェスティバル ～史跡の里で夢の競演～	9月	自主	全席1,000	550	1,500	530	970	1,000	
	2 史跡の里ふれあいコンサート(自衛隊音楽隊)	10月	自主	入場無料	500	500	0	500	500	
	その他歳入				チケット販売手数料		20			
	25年度小計						2,000	550	1,450	28%
	24年度予算						2,766	540	2,226	20%
4館計						25年度合計	40,129	17,653	22,476	44%
						24年度合計	36,942	20,034	16,908	54%

事業説明書

10 款 5 項 5 目 17 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合市民会館

(施策の大綱) 芸術、文化活動の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 芸術鑑賞機会の拡大

【事業名】 大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費				
【説明項目】 新人音楽祭コンクール開催経費について				
【25年度】	5,258 千円	【24年度】	5,427 千円	【増減額】 △ 169 千円
1. 事業の目的				
若い音楽家による演奏コンクールを実施し、将来性のある音楽家の発掘、育成を図ることにより、地方における音楽文化の振興と環境づくりに寄与することを目的として開催する。				
2. 事業の目標（数値目標）				
(1) 音楽祭の開催により、市民自ら誇りに思えるまちづくりを進める。 (2) 音楽を媒介した人と人との交流から、心豊かで温かい地域社会を実現していく。 (3) 今後も「行政と市民との協働によるまちづくり」を推進し、入場料を無料として多くの方々から鑑賞していただくとともに、小中学校との連携による音楽教育・情操教育の充実を図る。 (4) 第26回から、審査員の入れ替えを含め、今後のありかたについて実行委員会の場で検討する。				
3. 事業の概要				
(1) 会 場 大曲市民会館大ホール、小ホール（大曲中央公民館）				
(2) 開催日 平成26年1月11日（土）予選 平成26年1月12日（日）本選				
(3) 審査員 ■審査員に、新たに小松英典氏、第1回からの四反田素幸氏、特別審査員としてエディット・マティス氏（世界的ソプラノ歌手）を迎える予定である。				
■その他の審査員については、今後選考予定。				
(4) 部 門 実行委員会の場で検討予定 (現状：ピアノ/弦・管・打/声楽)				
(5) 授 賞 実行委員会の場で検討予定 (現状：グランプリ1名/優秀賞2名/奨励賞3名)				
(6) 入場料 無料				
4. これまでの成果と今後の方向性				
■H25年度で第26回目となる「新人音楽祭コンクール」は多くの特色を持ったコンクールであり、特に地方自治体が直接主催するコンクールは他に例が少ない。 ■市民ボランティアの方々が市内全地域から参加しており、市民の参加や関心も高まってきている。 ■平成23年度から市の単独事業として実施しており、入場料を無料としたことで観客数も増加傾向にある。				
《H24年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
■市民参画による実行委員会と多くの市民ボランティアで運営されており、合併7年を経て、市全域からの市民参加が増えてきており、「行政と市民との協働のまちづくり」に非常に有効である。 ■市内小・中学校及び社会人の吹奏楽団・マーチングバンド等は全国レベルで活躍しており、「新人音楽祭コンクール」も当市の音楽レベルの向上と未来を担う子供たちが心豊かに育つために大きな役割を果たしている。				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,258			660	4,598
【国県支出金】				
【そ の 他】 20款5項4目：入場料等収入				

事業説明書

10 款 5 項 6 目 14 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】 払田柵跡環境整備事業費 【説明項目】 払田柵跡外郭北門立体表示工事・外郭北部周辺盛土整地工事について				
【25年度】 30,316 千円 【24年度】 5,190 千円 【増減額】 25,126 千円				
1. 事業の目的 遺跡の保存を図ると共に、遺跡の性格や内容をわかりやすく表現することで、多くの見学者に史跡公園として利用していただくことを目的とする。 児童生徒の総合学習や成人層の生涯学習として、また市民の憩いの場や夏祭りなどの催事会場など、さまざまな活用を通じて、ふるさとの古代の歴史と文化財保護について理解を深める環境を整えるものである。				
2. 事業の目標（数値目標） 第3次史跡環境整備基本計画（平成15年度策定・文化庁承認）に基づき、年次計画による事業実施（外郭北東部を中心とした復元を含む部分整備計画）を行う。 ○設定期間：平成7年～平成35年度（予定） ○目標数値：平成25年度末事業進捗率 約22.95%（全体事業費1,000,000千円のうち229,500千円） （平成24年度末までの事業進捗率 約19.95%）				
3. 事業の概要 年次計画で進めている外郭北東部整備事業の一環として、外郭北門の立体表示工事及び外郭北部周辺の盛土整地工事を実施する。 遺跡の北東部の芝張整備地に立体表示と見学コースが整備されることで、遺跡北部の見学が可能となり、遺跡全体の理解に大きな効果があることから本事業を実施するものである。 【平成25年度事業計画】 ○外郭北門立体表示工事 26,042千円 ○外郭北部周辺盛土整地工事（地下遺構の保護及び復元整備の基層工事） 2,205千円 ・盛土面積 2,146㎡（平均厚30cm） ○外郭北門立体表示工事監理業務委託 945千円 ○外郭北部周辺盛土整地工事実施設計業務委託 294千円 ○国補助率50%（補助対象経費 30,000千円）				
4. これまでの成果と今後の方向性 環境整備事業の実施は、県内外及び全国から年間約4万人の利用・見学者が訪れるようになった。 払田柵跡の整備は、古代の城柵の復元をとおして歴史学習及び史跡公園としてレクリエーションや憩いの場、夏祭りイベントの利用など地域振興に大きな成果を上げている。 復元整備にあたっては、研究者の知見を取り入れながら歴史的魅力や利用者の利便と安全等に配慮した事業を年次計画で順次実施するものである。また、環境整備事業や土地買上事業によって維持管理面積の増加が見込まれることや、払田柵跡のシンボルとなっている外柵南門やその他の復元建物などの経年劣化による修繕費の増加と大規模修繕の対応が懸念される。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 必要性：国指定史跡の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。大仙市だけでなく秋田県を代表する遺跡として、保存のための環境整備を計画的に行い、史跡活用につなげるための事業として必要である。 有効性：盛土整地工事や遺構の一部復元は、遺構保護及び遺跡の性格を理解するために有効な方法である。 効率性：現在の事務量等考慮し効率的である。				総合評価 （今後の方向性） 現状のまま 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
30,316	15,000			15,316
【国県支出金】 14款2項7目：払田柵跡環境整備事業費補助金 【その他】				

事業説明書

10 款 5 項 6 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保護保全と調査

【事業名】 払田柵跡土地買上事業費				
【説明項目】 払田柵跡史跡指定地内の土地買上について				
【25年度】	5,661 千円	【24年度】	5,613 千円	【増減額】 48 千円
1. 事業の目的				
土地公有地化により遺跡の保存と共に、環境整備により史跡公園として遺跡の性格や内容をわかりやすく表現することにより、多くの見学者に史跡公園として利用してもらうことを目的とする。				
2. 事業の目標（数値目標）				
国指定史跡「払田柵跡（昭和6年指定）」は、遺跡保存のため昭和54年度から公有地化を目的とした土地買上事業、昭和57年度からは遺跡整備活用を目的に環境整備事業を実施している。今後は、大仙市の文化財主要拠点として、他の文化財と連携して歴史散策コース等の紹介を行い、文化遺産を通した市民の文化意識の高揚と地域活性化を図りたい。				
第2次保存管理計画書（平成14年度策定・文化庁承認）に基づく買上事業の実施				
■ 設定期間 昭和54年～平成35年				
■ 目標数値 平成24年度末進捗率 81.0%（全体計画面積208,523㎡ 買上面積168,959㎡）				
3. 事業の概要				
公有地化は、保存管理計画に基づき遺跡及び景観の保存と公開活用整備のために実施するものである。買上げあたって、公有地化の年次計画における予定地の所有者の内諾を得ていることから、買上げ機会を逸することのないように適切に事業を進める必要がある。				
【平成25年度事業計画】				
史跡指定地内（外郭南門隣接地）の水田（2筆）の買上を計画している。				
○ 土地買上 水田2,070㎡（2筆）				
見込単価2,600円／㎡程度（不動産鑑定評価実施）				
○ 国補助率 80%				
4. これまでの成果と今後の方向性				
史跡公有地化により、重要な遺跡が保護されることはもちろんであるが、買上事業と平行して実施される史跡環境整備事業（別紙事業説明書に別途記載）により、県内外、全国から観光客を誘客可能な大仙市内における数少ない文化的観光資源を創出することが可能となる。また、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフ等レクリエーション利用など多目的な活用を創出できるなど、観光振興、地域振興、地域間交流の促進に大きな効果が期待できる。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 （今後の方向性）
必要性：国指定史跡の保存・整備・活用のための必要性の高い事業である。 国民的遺産であり大仙市を代表する文化遺産（資産）として整備・活用（文化的観光振興・史跡公園市民活用等）を効率的、効果的に実施するための前提条件として必要な事業である。				改善しながら 継続
効率性：現在の事務量等を考慮し効率的である。 史跡払田柵跡保存管理計画（遺跡重要地区公有地化計画）に基づき、地権者の意向同意を得ながら、効率的に事業を進める。				
5. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,661	4,528			1,133
【国県支出金】 14款2項7目：文化財保存事業費補助金				
【その他】				

事業説明書

10 款 5 項 6 目 17 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】 旧池田氏庭園整備事業費 【説明項目】 旧池田氏庭園米蔵保存整備工事・枯死植栽補植及びガイダンス設置工事について				
【25年度】 109,120 千円 【24年度】 48,860 千円 【増減額】 60,260 千円				
1. 事業の目的 名勝庭園の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い、往時の姿に甦らせる整備を行い、広く活用できる文化財として、観光的視点を取り入れた地域振興を目的とする。				
2. 事業の目標 (数値目標) 国指定名勝「旧池田氏庭園」の学術・鑑賞的価値の保存伝承を図るために、庭園保存整備管理計画に基づき、H16～45年度までの30年間計画で国庫補助事業（一般整備）を活用した整備を進めてきている。 これによって、市内の他の文化・観光資源と連携し、歴史散策コースの設定や文化遺産による市民の文化意識の高揚と啓発を図ることを目標とする。 平成25年度においては、庭園の活用を推進する「史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業（総合整備）」を活用して、利用者から設置要望の高いガイダンス等の施設整備を進める。				
【一般整備】 ・事業実施期間 平成16～45年度（予定） ・概算全体事業費（目標数値） 1,000,000千円 ・国庫補助率 2分1以内 ・平成24年度末の進捗率 46.3% ・主な事業内容 庭園及び建物の復元整備				
【総合整備】 ・事業実施期間 平成25～27年度 ・概算全体事業費（目標数値） 74,923千円 (H25新規) ・国庫補助率 2分1以内 ・主な事業内容 ガイダンス施設及び関連ソフト事業				
3. 事業の概要 平成25年度においては、一般整備で米蔵修復工事及び庭園修復、新規の総合整備ではガイダンス施設の新築整備を行う計画である。				
◎平成25年度の主な整備事業計画 【一般整備】 事業費：70,000千円 ○米蔵修復工事(屋根・外壁工事) 3／4年次工事 (味噌蔵含む5年) ○庭園修復工事(枯死植栽の補植・枯死生垣修復他) 【総合整備(新規)】 事業費：38,900千円 ○ガイダンス施設設置(木造1部2階建 129㎡) ○パンフレット作成等(ソフト事業)				
4. これまでの成果と今後の方向性 これまでの一般整備は庭園や建物等の修復を行う事業であり、公開活用のためには、一般整備とは別に便益施設等を総合的に整備する必要がある。修復と活用の2事業の整合性を図ることで、県内外からの誘客に対応ができ、文化的観光資源としての魅力向上につながる。また、市民の憩いの場、催事等の多目的な活用も可能となることから、観光や地域振興の促進に大きな効果が期待できる。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 必要性：国指定名勝の保存・整備・活用の面で必要性の高い事業。 市を代表する文化遺産として整備することで、文化的観光振興や市民の憩いの場が確保されるなど多目的な事業である。 有効性：平成24年度入園者数 22,000人を超えるなど観光面でも効果がある。 効率性：補助事業を活用し、必要性、優先順位を考慮して効率的に実施する。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
109,120	54,450	49,700		4,970
【国県支出金】 14款2項7目:旧池田氏庭園整備事業費補助金 【市債】 21款1項9目:文化財整備事業債				

事業説明書

10 款 5 項 6 目 18 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保護保全と調査

【事業名】 埋蔵文化財調査費 【説明項目】 商業開発やほ場整備等の開発行為に対応した埋蔵文化財調査の実施				
【25年度】	6,026 千円	【24年度】	5,575 千円	【増減額】 451 千円
1. 事業の目的 大仙市内において、①商業開発やほ場整備、道路建設等の開発行為が行われる際に、事業計画地に周知の遺跡が含まれる場合は、文化財保護法により埋蔵文化財の発掘調査を行う必要がある。②周知の遺跡が含まれない場合でも、大規模な開発行為が行われる場合は、遺跡の不時発見による工事の中断等を防ぐため、事前の踏査・試掘調査が求められる。 これらに対応して、迅速かつ適切な埋蔵文化財の調査の実施が必要となることから、人員体制及び機材等の整備をし、開発行為の円滑な実施と埋蔵文化財の保護を目的とした事業である。				
2. 事業の目標（数値目標） ・ 開発行為が円滑に実施されること。 ・ 開発行為により埋蔵文化財が破壊されることがないように事業者と調整を図る。 （数値目標）開発行為による市内の埋蔵文化財の破壊→0 件				
3. 事業の概要 県営ほ場整備、宅地造成等の開発行為に係る試掘調査及び範囲確認調査の実施 【平成23年度実績】 ・ 調査箇所：18 地区 ・ 内訳：ほ場整備3地区、砂利採取6地区、宅地建物等7地区、区画整理1地区、携帯鉄塔建設1地区 【平成24年度実績（11月末現在）】 ・ 調査箇所：12 地区 ・ 内訳：ほ場整備4地区、砂利採取1地区、宅地建物等6地区、区画整理1地区 【平成25年度予定】 ほ場整備事業に係る試掘調査が4地区、その他の開発数は未定であるが、随時対応する必要がある。				
4. これまでの成果と今後の方向性 埋蔵文化財は文化財保護法で保護されているため、埋蔵文化財の調査は必要不可欠なものである。文化財保護法第99条第3項で、「地方公共団体は発掘に関し、事業者に対し協力を求めることができる。」と規定されていることから、できるだけ事業者の協力をもらい必要最小限の経費で埋蔵文化財の保護に努める。 また、大規模なほ場整備が平成27年度以降も複数計画されていることから、その前年度となる平成26年度以降も試掘調査等の対応が必要となることから、本事業は継続しなければならない。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 【必要性】 開発行為の実施においては、遺跡の不時発見を回避するため事前の試掘調査等が求められることから、人材・資材等の調査体制を整備する必要がある。本事業は開発事業のスムーズな実施及び埋蔵文化財の保護に必要な事業である。 【有効性】 考古学的手法により適切に実施されており有効である。 【効率性】 現在の事務量を考慮すると効率的である。				総合評価 (今後の方向性) 現状のまま 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6,026	2,700			3,326
【国県支出金】 14款2項7目：文化財保存事業費補助金 2,250 15款2項8目：文化財保存事業費補助金 450				
【その他】				

事業説明書

10 款 5 項 6 目 20 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】 鈴木空如資料調査研究事業費				
【説明項目】 空如の画業の調査研究を通じた顕彰活動に要する経費について				
【25年度】	5,422 千円	【24年度】	7,328 千円	【増減額】 △ 1,906 千円
1. 事業の目的				
鈴木空如の画業を調査研究し、その調査結果に基づく画業や人物顕彰、作品修復等をとおして、市民の連帯感の醸成と文化財を活用したまちづくりを目指す。				
2. 事業の目標（数値目標）				
鈴木空如資料群の整備と活用を進める。 ①空如筆の法隆寺金堂壁画（12点）の表装修復。→同材料を用いて同じ技法で4年間で完成→H26完成 ②作品の図録集等の印刷発行 → 随時発刊。 ③作品の公開活用 → 年1回の企画展、3年毎の特別展示、H27を目標に美術館等への貸し出しに対応できるように作品の状態を整備補完する。				
3. 事業の概要				
平成25年度の鈴木空如資料群の調査と顕彰、展示活用を行う事業				
①法隆寺金堂壁画大壁2点の表装修復の実施（計画期間はH23～26の4年間、H25は第3年次）。				
②作品及び画業の調査研究 専門調査員等による作品の調査の実施（第1期：H21～25）。				
③作品の公開活用 企画展の開催（年1回）と作品の活用。				
4. これまでの成果と今後の方向性				
【成果】①鈴木空如資料群の取得（市有化） ②企画展、特別展示による周知と市民の文化意識の醸成 ③専門指導調査員による作品の調査研究、報告書発行 ④県指定文化財の指定（H24） 【今後の方向性】鈴木空如資料群の整備と活用。 ①金堂壁画（12点）の表装修復（H23～26）②作品及び画業の調査研究の実施（第1期：H21～25） ③作品の公開活用（定期的な公開、活用に必要な作品等の維持、修復補完を含む） ※上記の事業を実施することにより、H27には美術館等に貸し出しできるような資料群に整える。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 資料群の取得及び特別展示開催並びに作品の修復を実施し、着実に成果が上がっている。 作品表装修復 → 金堂壁画 小壁4点の修復 特別展示 → 空如忌展（7月）大曲図書館で20日間開催、600人の見学者 パンフレット作成 → 500部作成				総合評価 （今後の方向性） 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,422				5,422
【国県支出金】				
【その他】				

事業説明書

10 款 5 項 6 目 22 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保護保全と調査

【事業名】 埋蔵文化財公開活用事業費

【説明項目】 成沢遺跡を中心とした埋蔵文化財を学べる展示室の設置

【25年度】 3,000 千円 【24年度】 0 千円 【増減額】 3,000 千円

1. 事業の目的

本市では現在486個所の遺跡が確認されているが、合併以前の旧市町村が実施した発掘調査と大仙市が実施した発掘調査によって、本市では相当数の遺物を所蔵している。その所蔵遺物の一部は、現在各施設で展示・公開しているが、大部分は収蔵庫に保管し、他の機関からの閲覧や貸し出しに備えている状況である。

平成25年度は、平成24年度に実施した成沢遺跡の調査において特徴ある出土があったことから、これら成沢遺跡の紹介をととして市内の埋蔵文化財の概観を学ぶことのできる(仮称)大仙市埋蔵文化財展示室を、出土地の近傍の大川西根公民館内に整備し、埋蔵文化財への理解と郷土愛の醸成を図ることを目的とする。

2. 事業の目標 (数値目標)

成沢遺跡の出土遺物のほか、本市が所蔵している遺物を公開し、実際に出土遺物に触れてもらうことで、市民の埋蔵文化財への理解を深める場を新たに設置する(見学者数:現在0人 → 設置後は公民館来館者数の3割程度(300人)を目標とする)。

3. 事業の概要

■実施時期:平成25年9月 (予定)

■実施場所:大川西根公民館 (旧JA事務室を常設展示室として開設)

■対象者:児童・生徒及び一般市民並びに考古学研究者等

■内容:成沢遺跡は、縄文時代後期から弥生時代まで連続する土器が同じ場所で出土するなど、秋田県において極めてめずらしい遺跡であり、実際の出土遺物を利用して土器形式の変遷が理解しやすい紹介を柱に次のような展示を行う。

- ・成沢Ⅱ遺跡と同時代の茨野遺跡(縄文後期)や星宮遺跡(縄文晩期)出土遺物など市所蔵遺物の展示
- ・大仙市の遺跡位置を大型衛星写真で紹介
- ・年少者でも容易に理解できる発掘調査の紹介パネルの展示
- ・発掘土器の接合体験コーナーの設置
- ・埋蔵文化財の映像紹介 ・市内遺物見学コースマップ作成 など

4. これまでの成果と今後の方向性

・成沢遺跡では平成24年度に地元篤志家の寄付を受けて約2か月半の調査を実施し、大コンテナ50箱分の遺物と、非常に珍しい縄文時代の柱と石棒が出土している(予算額5,500千円)。

・大仙市の埋蔵文化財の分布などの概要を理解できる展示施設として、成沢遺跡出土品や市所蔵遺物の展示室を整備する。併せて出前講座や市内の既存の展示施設等を紹介する見学コースマップ等を作成し、埋蔵文化財の普及啓発を促進する。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価
(今後の方向性)

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
3,000			2,000	1,000

【国県支出金】

【その他】 18款1項1目:教育文化基金繰入金

事業説明書

10 款 6 項 1 目 11 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの推進

【事業名】 スポーツ振興事業費 【説明項目】 スポーツ振興事業に係る経費について				
【25年度】 7,394 千円 【24年度】 7,522 千円 【増減額】 △ 128 千円				
1. 事業の目的 スポーツ振興計画の基本理念に基づき、市民の誰もが、それぞれの目標に応じて、いつでもどこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができるように、各地域において市民がスポーツに主体的に取り組める環境整備を図る。				
2. 事業の目標（数値目標） スポーツ推進委員・地域スポーツクラブ・体協・スポ少等のスポーツ団体と連携を図りながら、気軽に教室に参加しスポーツを楽しむことができ、大会に参加する家族や友人に声援をおくることで一緒にスポーツを楽しむことが出来るようなイベントを開催することを目標とする。				
○スポーツイベント参加者数				
平成23年度	19,544人			
平成24年度	17,473人	※24年12月までの実績		
平成25年度	20,000人	※目標		
3. 事業の概要				
○ 平成25年度から、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」を実施する。 本市では、平成22年度から太田地域において実施していたが、参加募集の対象要件が変更となり市全体として事業に取り組むこととなった。 実施にあたっては、行政・スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・体育協会等で組織する実行委員会を設立し、学校や事業所などにも協力をいただきながら全市民を対象とした事業として取り組む。				
○ その他のスポーツ事業については、多様化するスポーツニーズに対応し、市民がそれぞれのライフスタイルにあったイベントを提供し、スポーツを始めるきっかけづくりや、継続的にスポーツを行うことへの動機づけとなるような事業の展開に努める。				
※ 平成24年度、12月末現在のスポーツイベント等参加者数は、別紙のとおり。				
4. これまでの成果と今後の方向性				
○ 地域のスポーツ団体（スポーツクラブ等）と連携を図り、地域限定的なイベントについては事業委託を推進することにより、市民主導型のスポーツ環境の構築に努めている。				
○ 市民の多様化するスポーツニーズに応えると共に、今後は事業の統廃合や見直しを行い、効率的な運営を図る。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 平成23年度の運動・スポーツに関する意識調査において、市に力を入れてほしい事の11項目中、「各種スポーツ行事、大会、教室の開催」が14%ではあるが、一番多い状況となっている。これを踏まえ、市民のスポーツニーズを把握して要望に応えることが出来るよう、改善しながら継続すべきである。 また、市民における健康・体力づくりの一助となるよう、健康増進センターや包括支援センター等と連携し、スポーツを通した健康づくりの成果の検証に努める。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
7,394				7,394
【国県支出金】 【そ の 他】				

平成24年度12月末現在 スポーツ事業(大会・イベント等)参加者数調べ

No	地域	大会・イベント等名	本年度 開催月日	参加者数	参加チーム数
1	大曲	大仙市制施行記念駅伝競走大会	6/10	409	62
2		全県550歳野球大会	7/28～7/31	621	24
3		東北総合体育大会(柔道)	8/18～8/19	84	6
4		東北総合体育大会(なぎなた)	8/19	30	6
5		bjリーグプレシーズンマッチ(日韓戦)	9/9	1,407	2
6		全県500歳野球大会	9/22～9/26	4,481	177
7		スポーツ合宿(大学高校野球)	8/1～8/28	547	9
8		スポーツ合宿(大学応援部)	8/14～8/23	151	1
		小 計		7,730	287
9	神岡	第46回夫婦ハレーボール大会	7/1	97	9
10		第54回大仙北スポーツ少年団選抜野球大会	7/21～7/22	308	15
11		B&Gチャレンジスキー2012	8/19	10	2
12		第32回大仙北スポーツ少年団新人野球大会	10/6～10/7	292	15
13		第11回フライングディスク大会	10/20	36	—
14		第51回婦人ハレーボール大会	11/11	50	5
		小 計		793	46
15	西仙北	ぬく森グリーンウォーキング	6/2	22	—
16		西仙北スポーツフェスティバル	7/15	320	—
17		西仙北親善ゲートボール大会	9/12	44	8
18		黒森山健康マラソン大会	10/8	183	—
19		西仙北少年剣道大会	11/3	78	16
		小 計		647	24
20	中仙	第54回大仙北スポーツ少年団選抜野球大会中仙大会(スポ少)	6/16	93	4
21		第27回わんぱく相撲中仙大会(体協)	7/25	41	8
22		中仙招待卓球大会(体協)	9/1	70	4
23		第23回中仙秋季児童親善野球大会(スポ少)	8/26	69	4
24		中仙ファミリー健康ウォーキング大会(体協)	10/21	37	—
25		FDビンゴゲーム大会	10/21	114	—
26		中仙親善少年バスケットボール大会(小学生の部)	9/29～9/30	172	12
27		中仙親善少年バスケットボール大会(中学生の部)	10/27～10/28	190	12
28		中仙家庭ハレーボール大会(体協)	12/1	45	5
		小 計		831	49
29	協和	第20回協和地域グラウンド・ゴルフ大会	5/18	112	—
30		第32回協和地域ゲートボール大会	6/20	53	10
31		協和地域野球大会	7/1	60	5
32		第2回まほろばウォーキング大会	7/1	33	—
33		協和地域年代別野球大会	10/14	65	5
34		第14回美山湖フェスティバルウォーキング	10/14	22	—
		小 計		345	20

No	地域	大会・イベント等名	本年度 開催月日	平成24年度(11月末) 参加者数	参加チーム数
35	南 外	第3回ニュースポーツ体験会「スカットとボール」	6/10	33	-
36		第58回南外地域野球大会(盆野球)	8/14	189	8
37		第3回南外の緑(あお)里山ウォーキング	9/2	9	-
		小 計		231	8
38	仙 北	仙北地域ラジオ体操	7/22	550	-
39		仙北地域体育施設開放	7/22	200	-
40		第3回仙北地域ふれあいウォーキング	10/8	21	-
41		仙北地域グラウンドゴルフ大会	10/8	72	-
42		大仙市スポーツ少年団仙北支部指導者研修会	12/12	33	-
		小 計		876	0
43	太 田	チャレンジデーinおた	5/30	4,044	-
44		秋田県親善ゲートボール大会太田町大会	5/30	158	25
45		てくてくウォーキング	6/9	21	-
46		スポ少太田支部交流球技(野球)大会	7/1	53	3
47		秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会	9/8~9/9	781	-
48		スポ少太田支部交流球技(野球)大会	9/15	40	3
49		奥羽太田ロードレース大会	10/14	398	-
		小 計		5,495	31
		合 計		16,948	465

◎(教室・講習会)参加者数調べ

1	大曲	大仙市スポーツ少年団指導者等研修会	12/1	285	68
2	大曲	立花龍司「学童スポーツ・次世代育成」講演会	12/16	55	10
3	神岡	水中運動教室(延べ4回)	7/11～8/8	13	-
4		救命救急講習会	6/22	17	-
5		ジュニア水泳教室	8/1～8/3	22	-
6		ジュニアカヌー教室	8/8	13	-
7	太田	少年少女野球教室inおた	5/12	28	2
8		冬季少年少女野球教室	12/1	92	5
合 計				525	85

事業説明書

10 款 6 項 1 目 13 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの推進

【事業名】 全県500歳・550歳野球大会関係費 【説明項目】 全県500歳野球大会及び全県550歳野球大会の開催について				
【25年度】	2,500 千円	【24年度】	2,225 千円	【増減額】 275 千円
1. 事業の目的 「一生 スポーツ 一生 健康」のキャッチフレーズのもと、500歳・550歳野球大会を開催することにより、こよなく野球を愛する多くの熟年世代の心身の健康増進を図る。併せて、地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目的とする。				
2. 事業の目標（数値目標） 「高齢者が楽しみながら健康づくり」をモットーに、選手の健康面に充分配慮し、複雑なルールをスムーズ化するとともに、青少年の模範となるようスポーツマンシップを大切にしたい大会とする。 - 全県500歳野球大会参加チーム数 H24年度 177チーム ⇒ H25年度 178チーム - 全県550歳野球大会参加チーム数 H24年度 24チーム ⇒ H25年度 24チーム				
3. 事業の概要 【第22回 全県550歳野球大会】 ・抽選会 平成25年6月21日(金) 午後2時～ (秋田魁新報社 本社) ・大会期日 平成25年7月27日(土) ～ 29日(月) ※予定 ・会 場 南外山村運動広場(主会場)、ほか3会場 (全 4会場) ・出場チーム 24チーム ・試合数 全 23試合 【第35回 全県500歳野球大会(記念大会)】 ・抽選会 平成25年8月9日(金) 午後2時～ (秋田市文化会館) ・大会期日 平成25年9月28日(土) ～ 10月2日(水) ※予定 ・会 場 1. 神岡野球場(主会場)、2. 大曲球場、3. サン・スポーツランド協和野球場 4. 八乙女球場、ほか14会場 (全 18会場) ・出場チーム 178チーム(目標) ・試合数 全 177試合(目標)				
4. これまでの成果と今後の方向性 「高齢者が楽しみながら健康づくり」を合い言葉に、雪解けと同時に練習試合や交流戦が行われており、高齢者の健康づくりの一役を担っている。また、今後も更に充実した大会運営を行うため、会場設備の整備など野球環境の更なる向上を図る。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 ・大仙市を代表するスポーツイベントとして成長しており、出場を希望するチームが増加傾向にある。 ・中高年齢層の方々が、継続的にスポーツを行うことへの動機づけとなっており、生活資質の向上・健康づくりへの貢献、すなわち「一生 スポーツ 一生 健康」において有意義である。 ・平成25年度は、全県500歳野球大会が第35回のメモリアル大会を迎えることから、今後の大会や大仙市をPRし知名度の向上と地域活性化を図るため、NHK等の報道機関にニュースなどで積極的に取り上げていただけるよう働きかける。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
2,500				2,500
【国県支出金】 【そ の 他】				

事業説明書

10 款 6 項 1 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 競技スポーツの振興

【事業名】 スポーツ合宿等推進交流事業費

【説明項目】 スポーツ合宿等の推進及び地域交流事業について

【25年度】 1,400 千円 【24年度】 976 千円 【増減額】 424 千円

1. 事業の目的

スポーツ合宿、公式試合、交流試合等の実施を誘致・推進することで、スポーツ少年団や中学・高校の競技者等に刺激を与え、競技力の向上が期待できることと併せ、市民が競技スポーツへの関心を高め、またスポーツを活用したまちづくりや賑わいの創出を図り、地域の活性化に資することを目的とする。

2. 事業の目標（数値目標）

スポーツ振興計画では4つの基本目標の一つに「競技スポーツの振興」を掲げており、本市では交通機関の利便性と地域資源を活かし、ハイレベルな大会や合宿等を誘致・推進することにより、市民が競技スポーツに関心を持つことを目標とする。

- ・ 平成24年度宿泊実績 総宿泊費 24,000,000 円（8大学、3高校）延べ宿泊者数 4,124人
- ・ 平成25年度宿泊目標 総宿泊費 24,000,000 円（9大学、3高校）延べ宿泊者数 4,200人

3. 事業の概要

①【平成24年 スポーツ合宿実施状況】

No.	団体名	宿泊施設	人数			延べ人数	滞在日数(日)	宿泊日数(泊)
			選手	指導者	小計			
1	立教大学(準硬式)	太田クラブハウス	43	3	46	313	8	7
2	成城大学	八乙女交流センター	35	2	37	216	7	6
3	千葉商科大学	八乙女交流センター	51	1	52	312	7	6
4	上智大学	協和「四季の湯」	33	2	35	245	8	7
5	学習院大学	協和「四季の湯」	70	2	72	432	7	6
6	早稲田大学	西仙北「ユメリア」	144	7	151	1,359	10	9
7	横浜商科大学	神岡「獄の湯」	63	3	66	462	8	7
8	鎌倉学園高校	太田クラブハウス	41	5	46	318	7	6
9	東京学芸大附高校	太田クラブハウス	33	9	42	223	7	6
10	豊南高校(ソフトテニス)	神岡「獄の湯」	20	6	26	130	6	5
11	共栄大学(バスケット)予定	西仙北「ユメリア」	36	2	38	114	4	3
計			569	42	611	4,124	79	68

②【平成23年 サマーキャンプ実施状況】

No.	団体名	宿泊施設	人数			延べ人数	滞在日数	宿泊日数
			選手	指導者	小計			
1	立教大学(準硬式)	太田クラブハウス	39	1	40	280	8	7
2	成城大学	八乙女交流センター	26	3	29	174	7	6
3	大正大学	協和「四季の湯」	37	2	39	117	4	3
4	清和大学	協和「四季の湯」	38	2	40	240	7	6
5	横浜商科大学	神岡「獄の湯」	63	3	66	462	8	7
6	東京学芸大附高校	太田クラブハウス	32	3	35	245	8	7
7	大館鳳鳴高校	太田クラブハウス	48	3	51	153	4	3
8	盛岡一高	太田クラブハウス	26	3	29	87	4	3
計			309	20	329	1,758	50	42

4. これまでの成果と今後の方向性

平成10年度から継続的に夏季合宿を行っている横浜商科大学・東京学芸大附属高校をはじめ、平成22年度から本格的に合宿を招致・推進してきた結果、平成24年度は首都圏の7大学・2高校から合宿地として選定していただいた。現在の施設設備に加えて、充実した合宿が出来るよう更なる環境と設備の整備を図る。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

平成24年度のスポーツ合宿は、首都圏の8大学・3高校、総人数611人、延べ宿泊人数4,124人となっている。前年度と比較すると総人数で18.5%増、延べ宿泊人数で23.4%増と大幅に増加している。

増加の主な理由としては、新規に早稲田大学応援部が151人・9泊で合宿を行ったことによるが、屋内施設等をベースにサマーキャンプを実施するにあたっては、市内施設のキャパシティーにも余裕があることから、積極的に招致活動を推進する。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,400				1,400

【国県支出金】

【その他】